

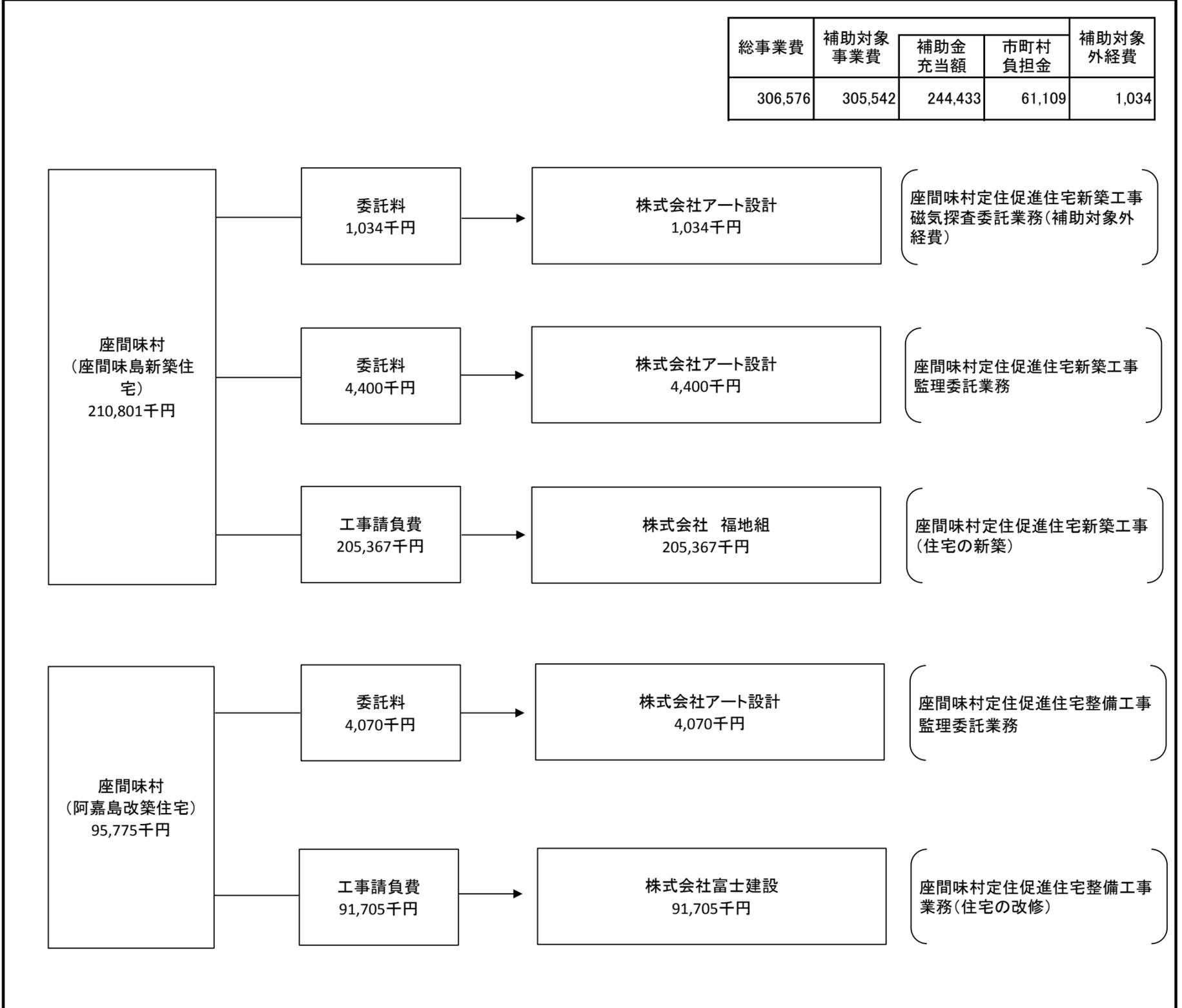
市町村名	座間味村						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	座間味村観光産業等新規就業者定住型住宅確保事業	事業類型	<input type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他				
担当部課名	総務課、産業振興課	事業実施(予定)年度	令和元～2年度				
事業内容	若年移住者の移住促進を図るため、集合住宅の新築工事及び空き民宿の改築工事を行う。 ・座間味島:集合住宅新築(2階建て、1棟、6戸) ・阿嘉島:空き民宿を集合住宅に改築(3階建て、1棟、6戸)						
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R12年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		282,635	0			
			322,147	0			
			39,512	0			
			0	322,147			
			322,147	322,147			
		B. 執行済額	0	305,542			
		うち補助金充当額	0	244,433			
		次年度繰越額	322,147	0			
		執行率(%) (B/A)	0.0%	94.8%			
	予算の状況の説明	入札不調の結果を踏まえた設計積算単価の変更により年度内完了が困難となり繰越事業となった。 不用額16,605千円については、改修工事箇所数の減、委託及び工事の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	座間味島住宅の新築棟数		目標 (1)	(1)	()	()	
			実績 0	1			
	阿嘉島住宅の改修棟数		目標 (1)	(1)	()	()	
		実績 0	1				
達成状況説明	○入札不調の結果を踏まえた設計積算単価の変更により年度内完了が困難となり、繰越事業となったため当該年度の目標達成とはならなかったが、翌年度において新築及び改築事業を完了し目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	定住促進住宅へ入居する移住世帯数		目標	(12)	(12)	(12)	(-)
			実績	-	0	0	11
	成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(令和12年度)
	定住促進住宅を活用した延べ移住世帯数		目標	()	()	()	(24)
		実績	-	0	0	-	
進捗状況説明	○令和2年12月に入居募集行ったが完成が年度末となったこともあり、入居世帯数は目標数へ届くことができなかった。 ○令和2年度末及び令和3年度にかけて入居募集を行ったところ、11世帯入居済み、空室となっている残り1世帯についても令和3年度中に入居予定である。						
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)				

取組の検証	<p>○当初計画時は住宅に困っている若年層が見受けられたが、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減り応募を見送る等が発生したと考えられる。</p>	<p>○入居募集に関しては座間味村のホームページやSNS等を活用して、入居募集の周知を強化し入居希望者を多く集める。</p> <p>○整備した住宅の適正な維持・監理をすることが必要。</p> <p>○住宅応募要件の性質を入居希望者に発信し、移住促進を求める</p>
-------	--	--

今後の取り組み方針

- 商工会や観光協会等地域の組織に情報提供をし、入居募集を行う。
- 今回整備をした住宅を活用することで働き手である若年層の移住促進、村内への安定的な人材確保を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費用・費目の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託及び工事事業者は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	不用額は事業費の5.2%となったが、入札残及び事業実施段階における改修箇所数の減に伴うものであったため適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。